

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	10		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際は児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		バリアフリー化された設備となっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日、清掃・換気・消毒を実施し、必要に応じてバーテーションを活用しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	6	個室はありませんが、バーテーションを活用し、児童の状況に応じて集中できる環境づくりに努めております。	定期的な環境調整をおこない活動しやすい空間づくりに努めてまいります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	10		定期的なミーティングで情報共有しております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		年に一度アンケートを実施し、職員間で共有して業務につなげております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員間のミーティング、リフレクションで情報共有を徹底しております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		年間計画に基づいた研修を実施しております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		10	支援プログラムについては公式Webサイトにて公表しております。	今後も継続して内容の見直しをおこない、適切な情報公開に努めてまいります。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		定期的アセスメントを実施し、職員間で共有できるように話し合いをおこなっております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		児童の様子を職員間で共有しながら現状を把握し、モニタリングやアセスメントの情報を共有し、適切な計画となるよう努めております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		計画作成後は会議に参加できていない職員にも確認してもらっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		社内共通フォーマルなアセスメントを使用し、細かく聞き取りをおこない、保護者様のご意向や課題など計画に反映できるように努めております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわら支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドラインに基づいて5領域に対する目標も細かく設定し、具体的な内容を設定するよう努めております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		児発管・保育士・児童指導員・作業療法士それぞれの視点で立案し、職員間で共有しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		随時手作りの教材を導入し指先を使う目標に対しても、いろいろな教材を使って取り組めるようにしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		個別の療育のほかに複数療育も積極的に取り入れたり集団活動も取り入れております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		支援開始前には役割分担を確認し、職員間で情報共有をおこないながら連携した支援の実施に努めております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		利用児童の様子は共有し、気付いた点や以降の支援に関わることは連絡ノートを使い共有しております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		療育時の様子については必ず記録を残し、振り返り次の支援に繋がれるように活かしております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		6ヶ月ごとにモニタリングをおこない、児童の現状に合わせて作成しております。		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	10		サービス担当者会議には基本的に児発管が出席しますが、事前に児童の様子を確認し情報共有しております。		
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		にしわかクリニックと協力医療機関と連携し情報共有しております。		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		事業所を併用している児童については必要に応じて情報交換や連携をおこなっております。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		就学時にはご要望に応じてコンパスでの支援内容を学校に伝えております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10		地域の通所支援事業所等と適宜連携を図っております。		
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	10		事業所内では作業療法士の助言を常時受けられる環境にあります。		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10		こども部会へ参加することはございます。		
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10		現時点では事業所として園との交流機会は設けておりません。	保護者様や関係機関のご意向を踏まえながら、交流の機会について検討してまいります。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		HUGマイページや送迎時に児童の様子をお伝えし、情報共有をおこなっております。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		事業所が現時点では事業所としてペアレント・トレーニングは実施できておりません。	保護者様からのご要望を踏まえながら、情報提供や研修機会の確保に努めてまいります。		
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明をおこない、いつでも閲覧できるよう掲示しております。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		計画作成時には、丁寧にアセスメントをおこない保護者様のニーズを計画に反映できるように努めております。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		立案した計画は保護者様と読み合わせ、課題や支援方法を確認し、同意を得ております。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		半年ごとのモニタリングだけでなく、保護者様とお会いできる機会を大切に、解決に向けて取り組んでおります。		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	10		現時点では保護者会や父母の会などの交流機会は設けておりません。	今後は保護者様のご意向を踏まえながら、保護者様同士の交流機会の確保について検討してまいります。	
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	保護者様からの相談や苦情は、窓口を設置し契約時に案内しております。		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		定期的にCOMPASSだけより発行し公式WebサイトやYoutubeで療育の様子を発信しております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫に厳重に保管しております。		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		児童には目線を合わせ分かりやすい言葉で簡潔に伝えるようにしております。		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	10		現時点では地域住民を招いた行事は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向を踏まえながら、地域の方々に事業所を知っていただける機会の確保について検討してまいります。	
	非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各マニュアルを作成し、従業員に周知するとともに事業所内に掲示し、保護者様にも見ていただけるようにしております。	
		46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		業務継続計画を策定し、備前の見直しや避難訓練を定期的実施しております。	
		47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	10		契約時にアセスメントをおこない、持病や服薬状況を把握し、職員間で共有しております。	
48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		10		アセスメント時に確認し、職員間で共有しております。		
49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		10		安全計画を作成し、事務所内の環境整備、備品の確保、マニュアルの見直しをおこない、訓練も定期的に実施し、安全管理に努めております。		
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		10		保護者様にマニュアルを見ていただき、緊急時の連絡先も定期的に確認し連携を図っております。		
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		10		事業所について職員間で共有し、報告書にまとめることでいつでも閲覧・振り返りが出来るようにし再発防止に努めております。		
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		全従業員が研修を受講し、虐待防止の理解と意識向上に努めております。			
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		原則として身体拘束はございません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、組織的に判断し、事前に保護者様へ十分な説明をおこない同意を得たうえで、児童発達支援計画に記載して対応してまいります。			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。